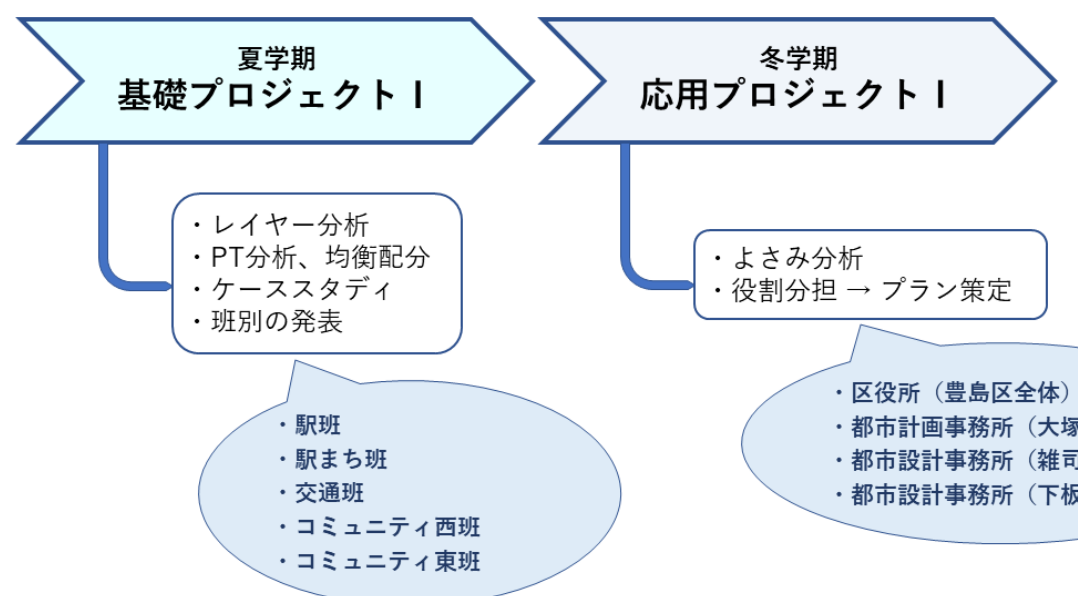


# 都市スタジオ「東京2050」について

東京の一敷地を対象とし、生活・文化・経済に関する歴史的な履歴と、人口減少・高齢化などの現状を踏まえつつ、現地調査や議論を基に、2050年に向けた空間計画と都市デザインの提案を行う演習です。2018年度は「豊島区」を対象としました。

夏学期の「基礎プロジェクトI」では、レイヤー分析や交通分析、ケーススタディといった課題とグループ演習を並行して進め、都市を分析するスキルを磨きます。

冬学期の「応用プロジェクトI」では、基礎プロジェクトIでの経験やよさみ分析を下敷きに、区役所や各事務所といった役割の下にロールプレイングを行い、対象敷地に向けたマスタープランの提案を行います。



## 4月 ガイダンス、現地調査、レイヤー分析



各人の興味に合わせて班分けを行った後、実際に現地を訪れ、情報を収集し、課題を見つけていきます

### レイヤー分析

…情報の種類別に都市を描画し、分析する手法



← 2018年度の演習で、山形市を対象としてレイヤー分析を行った際の成果です。地図を下敷きにして、地形/土地利用/神社仏閣などの各種の情報を別々のトレーシングペーパーになぞった後、重ねたりすることで、多面的に都市を分析します。

## 5月 交通分析 (PT分析・均衡配分)、ケーススタディ、模擬ワークショップ

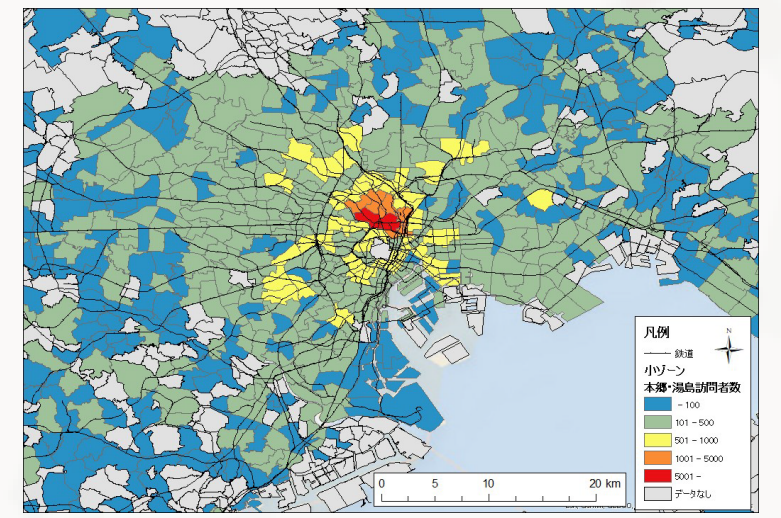
ロールプレイング形式で、都市計画家、一般市民などの役割に分かれて模擬討論を行います



### 交通分析 (PT分析、均衡配分)

…パーソントリップ調査 (PT調査) の結果分析や、計算による交通量の予測を行う

(※ パースントリップ調査…どんな人が、「いつ」「何のために (目的)」「何で (手段)」「どこからどこへ」移動したかを調べるアンケート調査)



## 6月 班別にプランを考える、模型作成の講習会

## 7月 最終発表 (外部講評会)



最終発表に向けて、ポスターやスライド、模型を班の皆で作成していきます

最終発表では外部よりゲストをお招きし、各班のプランに対する講評を頂きます

### ケーススタディ

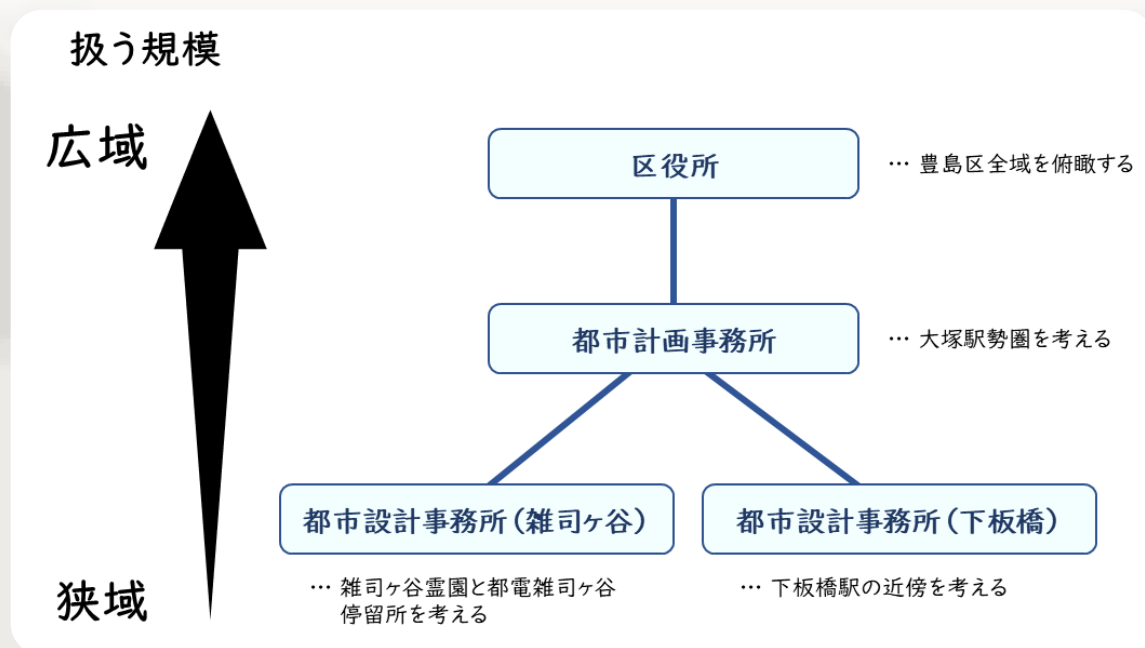
…都市の施設などを1つ取り上げ、その特徴、長所や短所などを分析する



← 新宿駅新南口と広場空間のケーススタディ。自分で図面を描いたりしながら、詳しく分析を行っていきます

## 10月 よさみ分析

## 11月 ロールプレイング (役割を分担し、マスタープランを考える)



改めてプランの対象敷地を訪れ、現状の課題は何か、2050年に向けてどういった方策を講じられるかを検討・議論していきます

### よさみ分析

…豊島区を人数に合わせて分割し、担当区域の「よさみ」(良いと思える点)は何かを分析する



↑ 皆がトレーシングペーパーに描いた「よさみ」を繋ぎ合わせます

## 12月 プランの調整、最終発表 (外部講評会)



各事務所間でプランの擦り合わせを行いながら、夏学期での経験を下敷きに模型や映像を作成していきます

基礎プロジェクト

応用プロジェクト